

みどりかがやく

穏やかな気持ちで

ヤエザキニホンスイセンが校門を入った右側の植え込みに咲いています。地中海原産の植物で、室町時代に中国を経由して日本にたどり着いたようです。残念ながら、日本原産のスイセンは1種類もありません。明治以降に日本に伝わったラッパスイセンは色も鮮やかで、花も大きく見栄えがします。一方、ニホンスイセンと言われる種は、色も落ち着いた黄色と白で、花も比較的小さく華やかさはありません。そこに日本らしい奥ゆかしさがあるように感じます。一重のニホンスイセンは至る所で見かけますが、ヤエザキニホンスイセンはあまり見かけません。華やかではありませんが、ヤエザキニホンスイセンは穏やかな落ち着いた気持ちにさせてくれます。



ヤエザキニホンスイセン

2月26日（金）に県公立高等学校の学力検査が行われました。そして、本日3月1日（月）は、県公立高等学校の面接・実技試験の日です。今年の学力検査の範囲は新型コロナウイルスによる影響を受け変更があり、出題範囲が一部縮小されての実施となりました。また、3月8日（月）の入学許可候補者の発表も密を避けるため、午前9時からインターネット上で、午前10時からそれぞれの高等学校で発表となります。

受検した生徒たちは、自分のできる限りの力を発揮してもらえたことと思います。結果がわかるのは1週間後ですが、それまでに自分の今までの取組を振り返ってほしいと思います。たとえ、入学試験の結果が思い通りでなくても、「今、自分のできる努力は全てやり尽くした」と考えられるなら、次に結びつくステップになるはずです。

今年の3年生が築いたもので伝統にしてほしいものはたくさんありますが、その中で特に強く感じるものが「きれいな環境をつくること」です。

多くの3年生は「洗心無言清掃」に率先して取り組み、校舎をきれいにしてきました。「洗心無言清掃」には「自分たちが使わせてもらうこの場所に感謝をして、清掃に取り組もう」という気持ちが込められています。自分の役割が終わったら「見つけ清掃」を時間いっぱい行います。この取組は1・2年生に更に深化してもらえることを期待しています。また、校庭の花壇の美化にも取り組み、1年間を通してパンジー、ノースポール、ストック、マリーゴールド、ペチュニアなどがきれいに咲いている環境をつくりました。日頃から身のまわりの環境を整えることは自分たちの心を整えるのに役立ちます。3年生はそれを確実に実践して、後輩へつなげました。

3月13日（土）は卒業式です。3年生は4月から全く新しい環境になり、1・2年生は進級します。新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続くと思いますし、社会は不安定なところもあります。そんな中ではありますが、自分にできる範囲で身近な環境を整え、穏やかに落ち着いた気持ちを持ち、自分を成長させられるよう願っています。